

## 1 平成30年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

### (1) 財政の動向

平成30年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、554億8,500万円であり、平成29年度の529億1,000万円に比べ、25億7,500万円、約4.9%の増額となっている。

主な増額の要因としては、土木費において、事業費の減額があったものの、子育て世代の人口増加に伴い、子育て施策に関連する経費が増加することから民生費で前年度比25億4,549万円の増額となったことによるものである。

また、6月に行われた流山市議会第2回定例会において、八木北小学校の児童数の増加に対応するため学童クラブ創設工事請負費など、当初予算に計上できなかった緊急性の高い事業を追加した一方、国の平成29年度補正予算第1号を受け、平成29年度流山市一般会計補正予算(第6号)において追加計上した事業費と、平成30年度当初予算と重複計上となっている事業費を整理するため、歳入歳出それぞれ1億886万1千円を減額したため、9月末の予算額は、553億7,613万9千円となっている。

なお、上期における予算現額を昨年9月末現在のものと比較すると、歳入では、つくばエクスプレス沿線整備事業の推進により人口が増加したことから市税が10億1,615万5千円増加したほか、地方交付税も5億8,500万円の増額、市債は、臨時財政対策債の増額により、昨年9月末現在と比べて7億7,870万円の増額となっている。

また、歳出においては、教育費が1億4,445万8千円の減額、土木費が2億7,123万6千円減額となっている。一方で子育て環境の充実を図るため、私立保育所整備補助事業や保育園運営委託事業などの保育関連経費や、児童手当支給事業に前年度より増額の予算編成を行っていることから、予算現額では、民生費が24億4,607万2千円の増額となっており、昨年9月末現在と比べて24億9,095万4千円の増額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。